

第1回須坂市学校給食センター運営委員会会議録

- I 日 時 令和2年10月12日(月) 午後1時30分～15時00分
- II 場 所 須坂市学校給食センター2階会議室
- III 出席者 【運営委員】鈴木政人委員 坂口孝夫委員 青木宏道委員
鶴田 崇委員 藤井さおり委員 浜岡一美委員 堀紀美子委員
今井一弘委員 高波佳美委員 田中美穂委員 鈴木真理子委員
山田千秋委員 青木文美委員 久保千春委員
【事務局】 小林教育長 関教育次長 清水課長
北堀所長 村石所長補佐 古平栄養教諭 小林栄養教諭
堀内管理栄養士
(株)ジーエスエフ 齋藤総括

IV 内 容

1. 開 会 …北堀所長 (進行：北堀所長)
2. あいさつ …小林教育長

昨年の今日は、台風19号の災害があり、大変な1日となりました。今年も様々な事がありましたが、特にコロナウイルスは、アフターコロナ、ウイズコロナとコロナウイルスと向かい合った環境下で、日常の活動はあらゆる面で大きく制約を受けています。対面での取組は心を成長させるものです。そのような中で給食は、栄養だけでなく自己肯定を感じられる、人・物に支えられていることも実感する大切な教育の場です。

昭和51年にこの給食センターができ、今年はこのセンターのフィナーレ閉めくくりの年です。大げさでない子ども達が感謝の気持ちを表す取り組みができればと思っています。

お配りしてある今日の資料の冊子「長野県つながる食育推進事業」に、食育研究家の佐藤剛志氏の「いのちをいただく」の文章を載せています。

「私たちは食べ物を食べて生きている。生きることは食べること。すべての食べ物は命だ。肉も魚も野菜も米も、すべてが種を残そうとする生命体だ。人が生きるということは、命を頂くこと。殺すこと。私たちの命は、多くの命に支えられている。」

3. 自己紹介…各自

4. 会長・副会長の選出

会長は浜岡委員、副会長は養護教諭部会の高波委員となる。

5. 会議事項 (進行：浜岡会長)

(1) 給食センターの概要

北堀所長：資料に基づき 給食センター概要について説明

(2) 2019 年度学校給食センターの事業報告について

2020 年度学校給食センターの事業について

村石所長補佐：資料 1 と資料 2 をもとに説明。

古平栄養教諭：パワーポイントにより、昨年実施した「つながる食育推進事業」と須坂市の食育活動の取り組みについて説明。

浜岡会長：委員に発言を許したがなく、以上で (2) を終結した。

(3)(新)学校給食センターの建設について

関教育次長：建設状況を資料「(新) 須坂市学校給食センター整備運営事業」に基づき、建設状況や今後のスケジュールについて説明。

北堀所長：(新)学校給食センターでのアレルギー対応について、資料 3、資料 4 をもとに説明。

浜岡会長：委員に発言を許したがなく、以上で(3)を終結した。

(4) 須坂市学校給食センター設置及び管理に関する条例の一部改正について

須坂市学校給食費徴収規則の制定について

村石所長補佐：当日配付資料①と②をもとに説明。

浜岡会長：委員に発言を許したがなく、以上で(4)を終結した。

(5) 令和 2 年度学校給食用物資納入業者の指定 (追加) について

村石所長補佐：当日配付資料③ (様式第 4 号) と「須坂市学校給食用物資納入業者指定要綱」をもとに説明。

…財政課へ「須坂市の物資等入札参加資格申請書」を提出済みで、学校給食センターへの納入業者へ納入を実施している。「須坂市学校給食用物資納入業者指定要綱」第 3 条の (指定基準) を満たしているため、指定を適用したい。

浜岡会長：委員に発言を許したがなく、一同異議なく了承し、以上で(5)を終結した。

(6) 給食センターへの願いなど

鈴木委員：P T A 懇談会の資料にも、コロナの休校の際には、給食のありがたみを感じましたというものがありました。

坂口委員：自分も給食は楽しみでした。これからもよろしくお願いします。

青木委員：給食では家では食べない野菜をちゃんと食べているようです。センターから配布されるお便りにあるレシピを見て、母親にリクエストして、参考に作っています。お便り以外にも、レシピがあれば印刷して配布も大変だと思われしますので、ホームページで見られるようになど可能な範囲でしていただけると嬉しい。

鶴田委員：周りに意見を聞いてみました。コロナ禍でも給食出していただきありがたかった。個人の意見として、パンの種類を増やしてほしいとか、揚げパンの回数を増やしてほしいといったものもありますが、聞き流していただいてもよいです。温かい料理を引き続きお願いします。また、アレルギーはソフトを入れて進めているとのことですが、ヒューマンエラーが心配される場所ですので、ダブルチェックなどお願いします。

藤井委員：レバーなど家では食べないものも給食では食べてくれます。子ども達が好きなティラミスやチリコンカン等もアレルギーの子でも食べられるものを、取り入れていただくとありがたい。さき身のレモンソースがけは大好物です。

堀 委員：簡易給食の対応はありがたかった。食育事業の取り組みもありがたい。アレルギーの子ども、一人ひとりの状況を把握していただいてありがたい。準備や後片付けを通して心身の成長につながる。地域でもグーライトの明日の給食献立が放映されていて、卒業した大人も給食を懐かしく思い出している。44年間須坂市の子ども達を育てた給食センターについて考えていきたい。東中学校や仁礼小の成果、食育の推進を市内各校でさらに継続して行っていきたい。

今井委員：コロナ禍の簡易給食は給食のありがたさを感じた。学校給食は学校の日程の真ん中にあり、給食のある無しで学校の計画が大きく変わることを改めて実感させられた。簡易給食は給食費の保護者負担をなくしていただいたのはありがたい。昨年いただいた食育のパネルは良いもので、今年入学した1年生が見ていたりする。給食センターだよりは、放送委員が給食中に読んで、食べながら聞いています。引き続きお願いします。

高波委員：須坂らしい給食、引き続き安全で安心な給食をお願いします。子ども達は給食が大好きです。本当に楽しみにしており、心も育っています。

田中委員：給食はワクワクする時間で、とても楽しい時間です。3年生はこれで食べられなくなってしまうといいながら、味わっています。大人になっても思い出せる楽しい時間です。行事食やかみかみメニューなど健康面も考えた献立だと思います。アレルギー対応も始まるので、良く連携しながら取り組んでいきたい。須坂市の給食は、とてもおいしいと思います。生活習慣病の取り組みも栄養教諭と一緒に連携し、保健指導に取り組みたいです。

鈴木委員：食育に力を入れていてありがたい。4年5年生の食育のワークシー

トはコメントを栄養教諭の先生が書いてくださり、家の人も子どもも見て前向きな気持ちになれる。八町キュウリの栽培の取り組みも、センターと連携ができ、頑張ろうという気持ちになる。希望献立は6年生が考えていて、給食センターの献立を見て、よく考えてたてられていると感想が聞かれます。好きな献立に和食をあげる子どもも多くいて、小学校6年間の食育の成果が感じられます。

山田委員：中学1年の学級担任をしていますが、分散登校時は前を向いて静かに食べましたが、給食は人と人が向きあう場所なのだと、改めて感じました。給食委員会中心に、センターへ44年間の感謝のメッセージができたならやっていきたいと思いました。

青木委員：子育てをしています。給食には助けられている。魚のレシピなど、苦手な子も食べやすいレシピや、ホームページなどありがたい。新しいセンターができたなら試食会などやってもらえるとうれしい。

久保委員：大量調理なので、人の顔がすぐ見える環境ではないが、その先の子どもの顔を思い浮かべて作っていただけるとありがたい。子どもは給食が大好きなので、学校の献立のアンケートに答えるためどれにするか真剣に悩んでいる姿が見受けられ、本当に給食が好きなのだなと感じられました。

浜岡委員：給食センターには、子どももお世話になって、ここの給食を食べていました。44年間本当によく施設が頑張ってもったと、思います。須坂の給食はバランス良く考えられています。外国の給食では、パンが1個というところもあります。新しい給食センターはとても楽しみです。より良い給食が提供されることを楽しみにしています。

所長：1月18日は竣工式を予定しています。代表者の出席になるかもしれませんが、その後、内覧会を予定しています。日を改めて試食会が可能か考えてみます。

古平栄養教諭：毎年卒業していく中学3年生に送る、給食レシピ集をホームページに4年間分アップしてあります。義務教育を終え、巣立っていく生徒たちが、いつか一人暮らしをした時に作れるよう和食の汁物をはじめ、人気のささ身のレモンソース和えやレバーのケチャップ和えもあります。一度ご覧いただくと知りたかったレシピが見つかると思います。

浜岡会長：他に発言を許したがなく、以上で(6)を終結した。

(7) その他

浜岡会長：他に発言を許したがなく、以上で(7)を終結し、以上で会議事項を終了した。

6. 閉 会 …清水課長